

《キーワード》 健康増進、疾患予防、疫学、分子疫学、地域保健、国際保健、医療コミュニケーション

《担当者名》 三浦 宏子 松岡 紘史

【概要】

健康を保持・増進することは人類の永遠のテーマであり、疾病を予防するための自然科学的及び社会科学的な知識及び技術を理解・習得し、かつ、この問題の解決に必要な態度を身につけることは医療人として重要なことである。

本授業では、疾患の予防及び健康保持増進のための理論と技術を習得し、これを個人、過程レベル、さらに、地域社会レベルから人類全体の健康増進にまで応用することができる基礎を築くことを目標とする。そのために、様々な疾患の病態及び病因について理解を深めるとともに、新たな予防法の開発のために必要な基礎研究及び臨床研究の実地方法と分析方法を理解し応用することを目標とする。

【学修目標】

1. 疾患の病態解明とその予防に必要とされる病理組織学的、分子生物学的な分析法を理解し応用できる。
2. 疾患の病因解明とその予防に必要とされる細菌学的、免疫学的な分析法を理解し応用できる。
3. 疾患の病因解明とその予防に必要とされる疫学的な分析法を理解し応用できる。
4. 地域保健の重要性についての理解を深め、実践できる。
5. 国際保健の重要性についての理解を深め、実践できる。
6. 医療分野での社会貢献をするための知識、語学力を持つ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	疫学		三浦 宏子 松岡 紘史
2	疾患の病因、病態、予防法		三浦 宏子 松岡 紘史
3	疾患の病因・病態の解明のために必要な基礎研究とその分析法		三浦 宏子 松岡 紘史
4	地域保健、国際保健のために必要な臨床研究その分析法		三浦 宏子 松岡 紘史
5	学会発表及び論文作成		三浦 宏子 松岡 紘史
6	基礎・臨床研究論文妙読会の開催		三浦 宏子 松岡 紘史

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

学部学生の頃に学んだ疫学、健康の定義、地域保健、国際保健についてノート、教科書を熟読しておくこと。